

さ が のう せう のう せん やく わり  
佐賀の農業・農村の役割  
～ふるさとの水と土を知ろう!!～

みず だいち ものがたり  
さがん水と大地の物語



# ふるさとの風景は みんなで守らねば!



今日は田舎のじいちゃんの家に来ました。ふたこの妹の「いずみ」と2人で



じいちゃん、おなかの空いとらね? おにぎりば 食べんねー



ねえ おじいちゃん、おにぎりのお米はおじいちゃんがつくったの? そうばい。今からじいちゃん田んぼに行くけん ついてくんね?



レッツゴー!! ためになる? りんぼの話はしてやるけん行くば



## ①あれもこれも佐賀育ち

こんなにすごいぞ! 佐賀の農業。今どきの佐賀の農業のようすや、全国に自慢できる佐賀のいろんな農産物を紹介するばい。

3ページ

## ④知っておきたい 田んぼの役割

田んぼと暮らしとのつながり。田んぼは食料をつくるだけじゃなく、いろんな役割があるとばい。

13ページ

## ⑦田んぼニュースをつくってみよう

たくさんの人に、自分のふるさとの良さをアピールするばい!

18ページ

広い田んぼや、その側を流れる小川は、自然にできたもんじゃなかとよ。ご先祖様たちが、食べるための米や野菜を育てようと、荒れた大地をいっしょうけんめい耕したとばい。その大地で、ず〜っと農業は続けてきたけん、今でもおいしい米が食べらるっし、目の前には緑いっぱいの景色が広がると。この水と土、緑あふれるふるさとの風景を、もっともっと良くしていくためには、たくさんの人たちに農業の大切さを伝えることが大事かとばい。

## ②稲作のはじまりを調べてみよう

昔と今の農耕具や稲作の歴史、遺跡を知ることで、稲作のはじまりを学べるばい。

5ページ

## ③昔と今の農業はこんなに違う

昔と今の農業のうつりかわりや、水の神様と呼ばれた成富兵庫茂安について紹介するばい。

7ページ

## ⑤農村は生き物たちの楽園

よ〜く見てみると、いろんな生き物を発見できるばい!

15ページ

## ⑥実りの神様に感謝しよう

農業とお祭りのつながり。雨乞いも豊作も昔はみんな神様にお願いしとったとばい!

17ページ

## ⑧農業の動きを調べてみよう

佐賀の農家数や耕地面積の動きを学べるばい!

19ページ



# こんなにすごい! 佐賀農業

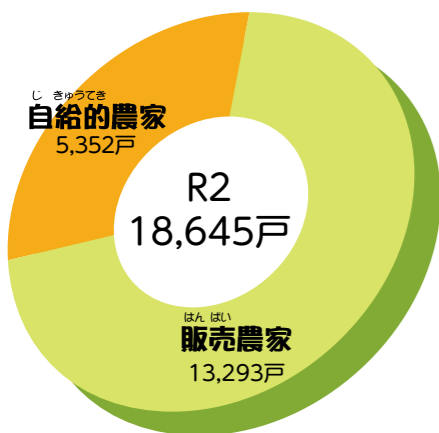


みんなが住んでいる佐賀県では、  
全国に自慢できる農産物をつくりよっとよ。

<b>アスパラガス</b>  収穫量 2,520t(R3) <b>二位</b>	<b>れんこん</b>  収穫量 6,450t(R3) <b>二位</b>	<b>二条大麦(ビール麦)</b> (にしょうおおむぎ)  作付面積 9,970ha(R3) <b>日本一</b>
<b>ハウスみかん</b>  収穫量 6,540t(R3) <b>日本一</b>	<b>たまねぎ</b>  収穫量 100,800t(R3) <b>二位</b>	<b>牛肉</b> (ぎゅうにく)  肉用牛(肥育用牛)の飼養頭数 36,600頭(R3) <b>五位</b>

農業をしている人は  
どれくらいいるんだろう?

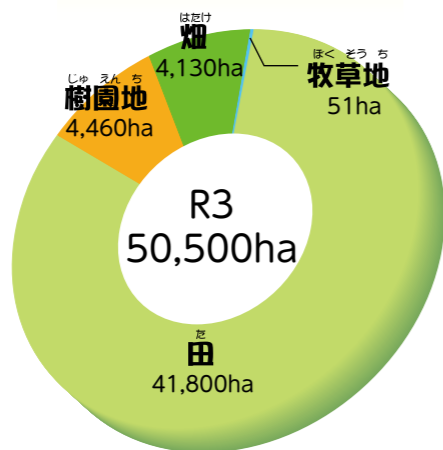
## 農家戸数



資料:農林水産省「農林業センサス」

農地(田んぼなど)は  
どれくらいあるの?

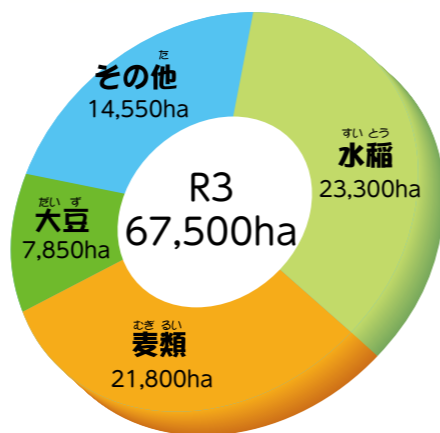
## 農地面積



※合計数値は四捨五入の関係で一致しません。  
資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

農地ではどんな作物が  
作られているの?

## 作付延べ面積



資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

農地面積50,500haに対して作付延べ面積が67,500haと耕地の利用されている割合が133.7%で全国No.1なんだよ!

※同じ田んぼで、春から秋は米づくり、秋から春には麦や玉ねぎを作ります。

販売農家……経営耕地面積が30a以上又は1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家  
自給的農家……経営耕地面積が30a未満かつ1年間の農産物販売金額が50万円未満の農家

## 主な産地マップ



へえ~!

こんなにいっぱい!  
佐賀の農家はがんばって  
るんだね。

稲作のはじまりを調べてみよう



お米をつくる技術と一しょに、いろんな農具も伝わってきた。時代とともに道具や田んぼを作り、水を引く技術が発達したおかげで、どんどん田んぼが広がっていったとばい。

# 昔と今の農具

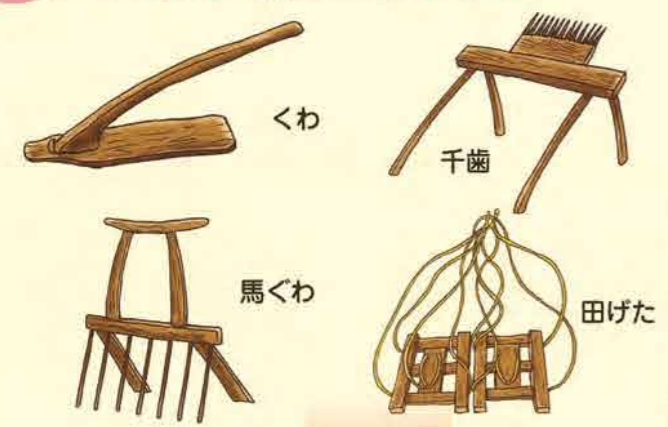


そんな昔からお米が作られていたって、どうして分かるの？

昔のお米っておいしかったのかなあ？

## 昔

くわ、千歯、馬くわ、田げた、など



## 今

田植機、トラクター、コンバイン、など



### 稲作のはじまりと現在までのうつりかわり

●けものを捕まえたり、魚や木の実をとる生活。とれるものがなくなると住む場所を移動。

#### 菜畑遺跡の頃

写真提供：唐津市教育委員会 炭化した米

- 稲を持った中国大陸の人が日本にやってきて、稲作がはじまる。
- 稲作が生活基盤となって、決まった土地に定住。どんどん田んぼを広げる。

#### 吉野ヶ里遺跡の頃

#### 土生遺跡の頃

- 中国大陸から鉄が伝わり、鉄を使った農具が登場。
- 洪水を防ぐため川に堤防をつくったり、水不足を防ぐための水路やため池をつくり始める。
- 田んぼをたくさん持つ人がリーダーとなり、貧富の差がでてくるようになる。
- 田んぼを、決まった大きさに分けていく「条里制」が全国各地で行われる。
- 牛や馬を使った農業が行われるようになる。
- 新しい田んぼを広げるために、全国で干拓や開墾が行われるようになる。

縄文時代  
弥生時代  
古墳時代  
奈良・平安時代  
鎌倉時代  
江戸時代  
明治・現代

●用水路の整備や川の改良などで、たくさんお米ができるようになる。



●ほ場整備が行なわれて、生産性が高く効率の良い農業が行われる。

## 昔の米づくりの様子を伝える遺跡が県内各地で見られています



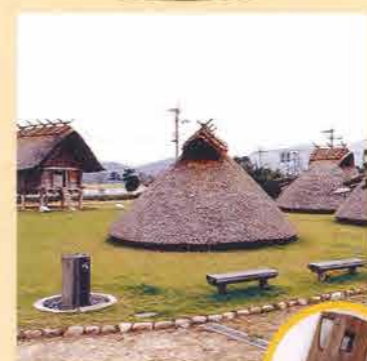
### 菜畑遺跡 唐津市



縄文時代から弥生時代中期にかけての遺跡で、人間が住んでいた住居跡や小區画の水田跡が発見されています。縄文後期の土器と一緒に炭化した米や木製農具が見つかり、「日本最古の水田跡」と言われています。

菜畑遺跡「米蔵館」  
TEL:0955-73-3673 住:唐津市菜畑3359-2

### 土生遺跡 小城市



写真提供・問い合わせ先  
小城市立歴史資料館  
TEL:0952-73-8809  
住:小城市小城市158-4

弥生時代中期の遺跡で、炭化した米をはじめ、クワやスキなどの農具や生活用具が多数発見されています。保存状態がとても良く、約二千年前の道具が、ほぼそのままの形で出土しています。

### 吉野ヶ里遺跡 神崎市・吉野ヶ里町



約600年続いた弥生時代の、全ての時期の遺物や遺構が発見されています。遺跡全体が堀で囲まれた環壕集落としては日本最大の広さで、米を納める貯蔵穴や、稲作農具用の石器類、鋼製のカマやスキなどが発見されています。遺跡からは、弥生時代だけでなく奈良・平安時代の建物跡や鎌倉・室町時代の寺院跡なども発掘されており、長い年月において、重要な地域であったと考えられます。

詳しくはWebで検索！  
吉野ヶ里歴史公園 検索

### 地名の由来は条里制

奈良時代になると、全国各地の田んぼを真四角に区切る「条里制」という区画制度が行なわれました。一区画を「里」とよび、佐賀では神崎市や小城市など佐賀平野を中心に行なわれ、この条里制の名残から「吉野ヶ里」という地名が今も残っています。



## 古代米ってどんな味？

●お米といえば白色ですが、稲作が日本で始まったころは赤いお米がつけられていました。古代米(昔のお米)は、白米よりもビタミンやミネラルが多く、健康に良いといわれています。佐賀県江北町で農業をしている武富さんは、黒米で作ったおはぎのおいしさが忘れられず、自分でも古代米を栽培するようになりました。武富さんは赤米だけではなく、緑米や黒米などの古代米もつくっています。



2千年以上も前から作られていた古代米にはロマンを感じますね。

武富さんの古代米は日本だけでなく、海外でも人気があるとばい。わしも古代米を食べて長生きするぞ～！

#### 武富さんはこんな人。

平成3年から無農薬で古代米づくりをはじめ、平成14年に日本人として初めて「スローフード・アワード」を受賞しました。これは、食のノーベル賞のようなもので、武富さんは世界188人の候補者の中から選ばれました。

昔と今の農業はこんなに違う!

# 昔の農地と水

(江戸時代～昭和初期頃)



ここからは昔の農業を紹介する。緑豊かな佐賀は、水が豊富だというイメージがあるかもしれないが、実は少ない水資源を「アオ取水」や「クリーク」など、昔の人の知恵と工夫で効率良く使いよったとばい。

## 雨水に頼ったため池

佐賀県西北部にある上場台地は、河川が少ないため雨水をためるしかなく、ため池をつくって水源を確保しました。用水路も掘って、なんとか田畑に水を引き入れていましたが、農民にとっては、作物をつくるのと同じくらいため池づくりは大切な仕事の一つでした。

**茂じいさん チェック!**  
上場台地では、江戸時代から昭和にかけて500ものため池を作ったと。みんなで協力しながら、貴重な水を最大限にいかす方法を考えたといはれとばい。

## 干潟が豊かな農地に大変身

有明海の潮の満ち引きでできた干潟は、少しでも農地をを広げようとした祖先たちによって干拓されてきました。干拓は、すでに聖徳太子の時代から始まっていたといわれています。長い歴史のなかで干拓を繰り返し、たくさんの田畑やクリークを作ることで有明海の干拓は豊かな農地に生まれかわったのです。



江戸時代後期の筑後川河口付近(鹿児島県薩摩郡) 薩摩報効会蔵

上場台地 ため池 玄界灘

脊振山

佐賀平野

踏車

踏車

クリーク

クリーク

樋門

堤防

有明海

筑後川

## 少ない水を繰り返し使うクリーク

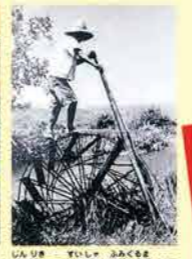
佐賀平野は農業用水が不足していたため、少ない水を溜めて繰り返し使うようクリークが発達しています。クリークは、大雨のときは水を一時溜めて洪水も防いでいます。また、クリークの水は防火用水などにも使われています。



昔の面影を残す、あみの目のように広がったクリーク。



クリークで栽培されている菱の実秋に収穫。



人力の水車(踏車)で田に水を引き込んでいました。

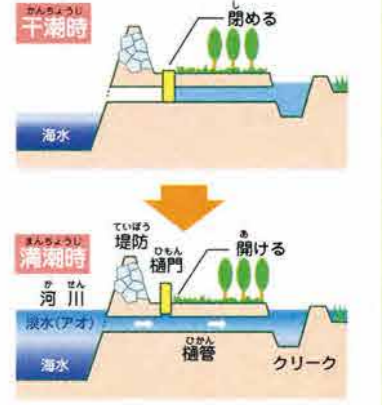
## 自然の力を利用したアオ(淡水)取水

「淡水」(塩分を含まない水)と書いて「アオ」と読みます。有明海は日本一干満の差が大きく、満ち潮の時には海水が川を逆のぼってきます。この時、海水よりも軽い淡水は上へ、海水は下へと分かれるという自然の原理を生かし、上にある淡水だけをクリーク内に取り入れたのがアオ取水です。

**茂じいさん チェック!**  
田んぼに海水が入ると、せっかくの農作物がだめになってしまう。樋門を管理する人は「ひしゃく」を使って流れてくる水を口に含み、塩分が混じっていないか確認しとったといはれとばい。

## アオ取水のしくみ

満ち潮の時に川を逆流してきた淡水をタイミングをはかってクリーク内へ入れます。しかし、その時に海水が混じらないように注意しなければなりません。



さまざまな自然の力を農業に生かしていた昔の人はすごかーが!

へえ〜、昔の人はいろんな工夫をしていたんだね。

このしくみがどんな風に今の農業に変わっていったの?

**茂じいさん チェック!**  
少ない水を繰り返し使おうという昔の人の知恵ばってん、大型の農業機械が入りにくかったり不便な点も多かったと。

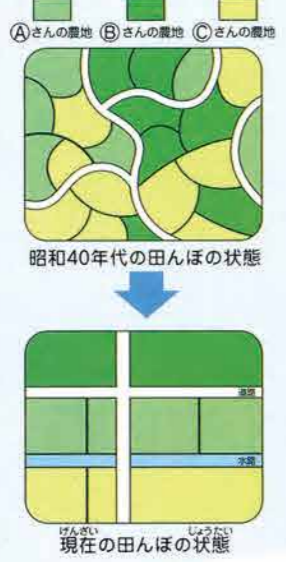
昔と今の農業は  
こんなにも違う!

# 今の農地と水

(昭和40年代)

## ほ場整備で効率のよい農業

小さくて形がバラバラな田畑を長方形にまとめ、農道や水路を整備することを「ほ場整備」と言います。ひとつの区画(広さ約30a)が大きいため大型の機械を導入でき、同じ人の農地が近い場所にあるので移動時間も少なくなり、生産性の高い農地へと生まれ変わりました。佐賀県では昭和40年頃からはじまり、今ではほとんどの田畑でほ場整備が完了し、効率のよい農業が行われています。



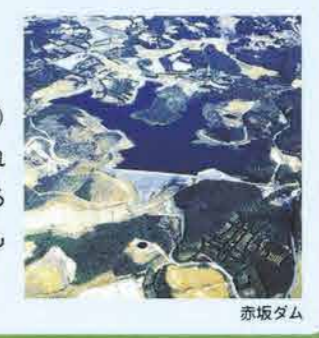
**茂じいさん チェック!**

離ればなれになった土地が近くに集まったおかげで、作業も楽になったと、曲がりくねった細い農道も広くなったんで、大型の機械もスイスイ動かすことができたと。



## 上場台地の水利施設

上場台地では、5つのダム(打上、後川内、上倉、赤坂、藤ノ平)の建設と、ほ場整備が行われました。「上場砂漠」と呼ばれるほど水が少なかった地域には、安定した量の水が送られるようになり、ハウスを使ったイチゴ栽培など、新しい農業もできるようになりました。



## 川上頭首工

北山ダムから放流された水を嘉瀬川から水路に取り入れる堰で、この水は佐賀平野に運ばれます。



## 筑後大堰

## 佐賀揚水機場

## 筑後大堰で安定した水を供給

自然の力を利用したアオ取水は、使える水の量も少なく、またどうしても塩分がまじってしまうため、作物を育てるのに良い水とはいえません。筑後大堰ができてからは、ゲート(水をせきとめる板)で川の水を管理し、必要な時に川の真水を用水路に取り入れることができます。このことで不足していた農業用水が確保され、不安定なアオ取水が解消されました。



## 近代化された水利施設



北山ダム: 嘉瀬川の水をせき止め、安定した農業用水を供給することができるようになりました。



用排水路: 曲がりくねったクリークは、水を運んだり溜めたりしやすいように整備されました。



ポンプ: 昔の足踏み式の水車に替わって、電気力で用水路から水をくみあげて田んぼに送水することができます。



佐賀揚水機場: 筑後川の水をポンプでくみ上げる施設で、水は幹線水路を通り、各地の分水口からクリークに流れて田畑を潤します。

詳しくはWebで検索!

佐賀土地改良区

水資源機構 筑後川局

# 成富兵庫茂安の足跡



ところで、二人は成富兵庫茂安という人を知っとんね? 実は、わしの最も尊敬する人で、水の神様と呼ばれた人やったとばい。

水の神様って、一体何をした人なの?

そういえば、じいちゃんの名前も茂安だあ!



茂安さんのアイデア、どこにあるのかな?

# 成富兵庫茂安がつくった水利施設



### 蛤水道

夏になると田手川の水が少なくなるため、山の向こうの水源地から1260メートルの水路を掘って川に水を引き入れました。現在でも、蛤水道からの水が利用されています。

### 千栗土居

筑後川は毎年のように洪水になっていたため、(旧)三根町から(旧)北茂安町までの東西12キロにわたって、長くてしょうぶな堤防を作りました。新しい堤防ができるまで、300年以上使われました。

### 石井樋

大雨が降るたびに洪水が起こる嘉瀬川を安全な川にするために、茂安は2つの堤防をつくり、川の勢いをゆるめて、水の量が調整できる工夫をしました。川の流れを弱めるためには、「てんぐのはな」「ぞうのはな」「アラコ」と呼ばれる障害物を作り、水の量を調節するためには、大井手を作りました。大井手に溜まった水を、水門から佐賀城下に流れる多布施川に引き込みました。今ではこの役割は上流の川上頭首工が行っています。



### 昔の川の様子

大雨が降ったり台風がやってくると、川の水があふれて洪水になり、家が流されるなどたくさんの被害を受けていました。とくに佐賀県と福岡県のあいだを流れる筑後川は、洪水になると今の佐賀県庁(昔の佐賀城)あたりまで水が押し寄せ、多くの人をこまらせていました。

逆に雨が降らない日が続くと、こんどは水不足になって、干ばつの被害で田畑の作物が枯れてしまいます。農民にとって水は命と同じくらい大切だったので、昔は「水あらい」といって川の水を奪いあい、村同士でケンカをすることもありました。



### 茂安のアイデア

洪水の起きない安全な川をつくるために、雨が降っても川の水があふれないように丈夫な「堤防」をつくりました。

また、農業用水が少ない佐賀平野で水を効率的に使うようクリークを整備したり、あらかじめ水を溜めておく「ため池」を作って、雨が降らなくても水不足にならないように工夫をしました。



### 永池の堤

白石平野は水源にとほしく、川の水には塩分が含まれていたため田んぼには使えませんでした。そこで大きな堤を作って水を溜め(ため池)、田畑に水を送りました。永池の堤は現在も利用されています。

### 馬頭頭首工

伊万里市の桃の川地区は、近くに川が流れているものの、川が土地より低いために水をうまく引き込めず、水田をつくるのができませんでした。そこで茂安は、水の圧力を利用して下から上へ水をひきあげる「馬の頭」という工夫をしました。木でつくったパイプを川底に通すという大胆な発想のおかげで、水路に水を通すことができました。木のパイプはコンクリートに作りなおされていますが、今もこの水路は利用されています。



### サイホンの原理

左岸より右岸の方が少し高かったため、Aから引き込まれた水は、A'にわきあがってきます。水が下から上へわき上がるしくみを「サイホンの原理」といいます。

### 馬の頭

水を通すパイプは、木でつくったおけのような筒をつないで作られていました。



## 成富兵庫茂安ってこんな人!

茂安様のいろんなアイデアのおかげで、水を便利に使うことができるようになったとばい。今でもそのアイデアは生かされよとよ。



こんなこと考える茂安さんってどんな人だったの?

1560年、現在の佐賀市鍋島町に生まれる。この時代は「戦国時代」とよばれ、大名同士で戦いがくりかえされており、武士である茂安も多くの戦いで活躍しました。

江戸時代になると、茂安は治水事業(洪水から人々を守る)や、利水事業(川の水をうまく利用して田畑の水や飲み水を確保する)を始め、各地で工事を行いました。村の人たちと一緒に働く茂安は、だれからも好かれ、茂安の名前にちなんだお祭りや町名が今でも残っています。

おまつり: 兵庫祭り  
町名: みやき町北茂安・佐賀市兵庫 など



ぜ〜んぶ機械を使わずに人の手で作られていて苦労したとばい。でも、佐賀にたくさんの田んぼがあるのは、茂安様がいろんな水路を作ってくれたおかげばい。

茂安さんって本当にすごい人なんだね。

昔の仕組みが今も使われているなんてビックリ!



# 田んぼと暮らしとのつながり

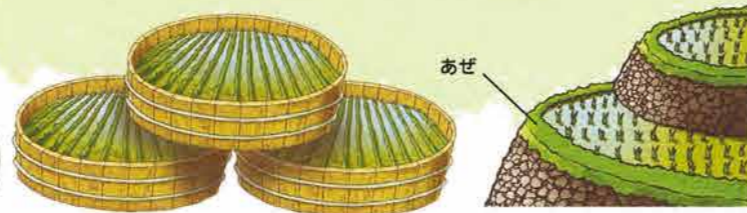


たくさんの田んぼがある農村は、みんなの食料を作るだけでなく、実はいろんな働きをしようとばい。

お米や野菜をつくるだけじゃないの？

## 水をためる

田んぼは、畦という土の仕切りに囲まれているので、大雨の時に雨水を一時的に溜める小さなダムのような働きをします。耕された畑も、土の中に小さなすき間があるので水が吸収されやすく、地中で水をたくわえます。そのため、大雨の時は下流に流れ出る水の勢いが弱くなり、災害の発生を防ぎます。



田んぼは1枚1枚「あぜ」で水をためている  
たらいのようなものだ。

## 土砂くずれを防ぐ

山の斜面に階段状にある田んぼ(棚田)や畑(段々畑)は、水をためる機能があるので、大雨になっても水が急激に流れ出ないので山の表面が削れにくく、土砂くずれを防ぎます。平地の田んぼや畑も、植えられた作物の茎や葉が、雨や風の影響をやわらげてくれるので、土砂が流れ出るのをおさえることができます。



## 水をきれいにしたり 気温の上昇をおさえる

雨水が水田にしみこむと、土の層がフィルターとなって水の汚れを取り除き、きれいな水が地下水に流れこみます。また、水田の水は、蒸発する時に熱を吸収するので夏の気温の上昇をおさえます。

## 心なご風景をつくる

水と土、緑あふれる農村は、四季を通じて美しい風景を私たちにを見せてくれます。そこに住む人だけでなく、農村を訪れたみんなの心をなごませる風景は、人間が長い時間をかけ、農業を通してつくりあげてきたものです。佐賀県は、広々とした水田の風景や美しいふるさとの原風景といわれる棚田が多く残っていて、「日本の棚田百選」に6カ所も選ばれています。



## 棚田ではさまざまなイベントが おこなわれています。

佐賀県内の棚田では田植え・稲刈り体験や棚田の風景を眺めながら歩くウォーキングイベント、かかしコンテストなど様々なイベントが行われており、多くの人々が楽しみながら棚田に親しんでいます。



**茂いさん  
チェック!**

日本の農業を支えてきた風景が今も大切にされとるけん棚田百選に選ばれたとばい。どの棚田もキレイかと。

詳しくはWebで検索!  
さが棚田ネットワーク   
Facebookもみてね!

## グリーンツーリズムって?

休日に農村にでかけて農業体験をしたり、きれいな空気を吸ってのんびり過ごすことを「グリーンツーリズム」といいます。ヨーロッパでは一般的な休日の過ごし方ですが、日本でも人気が高まっています。とくに都会に住む人々にとっては、豊かな自然やのどかな環境は魅力的で、全国各地の農村でグリーンツーリズムが行われています。佐賀県でも様々な農業体験やイベントが行われており、農村が新しい交流の場になることが期待されています。



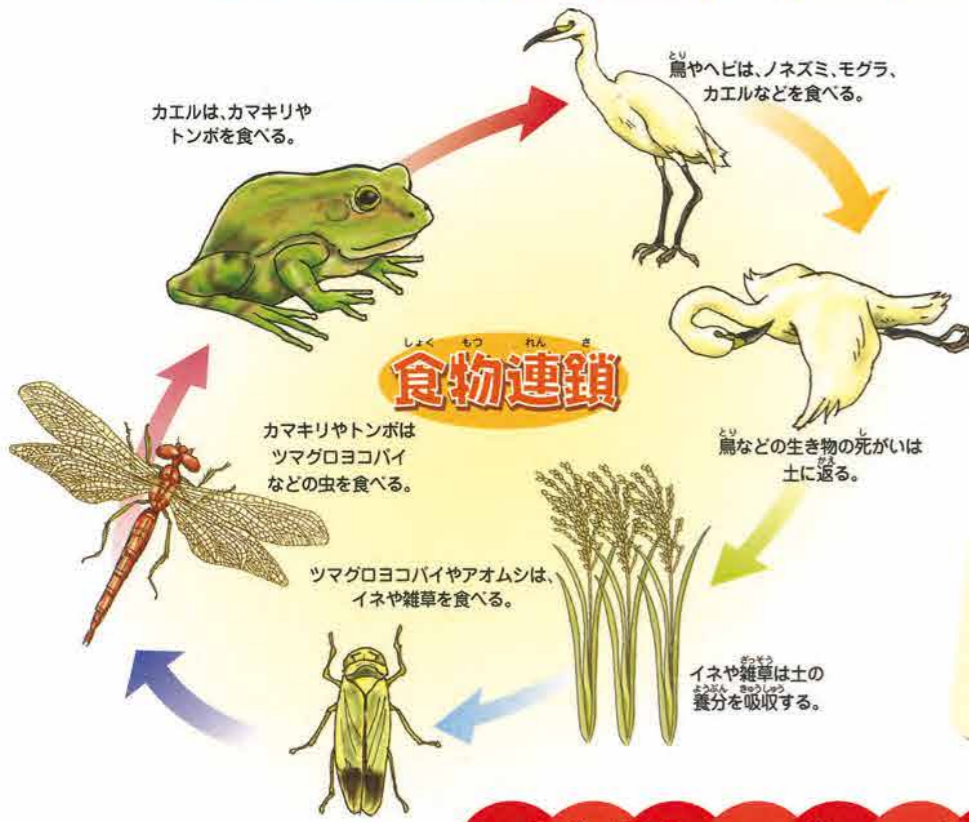
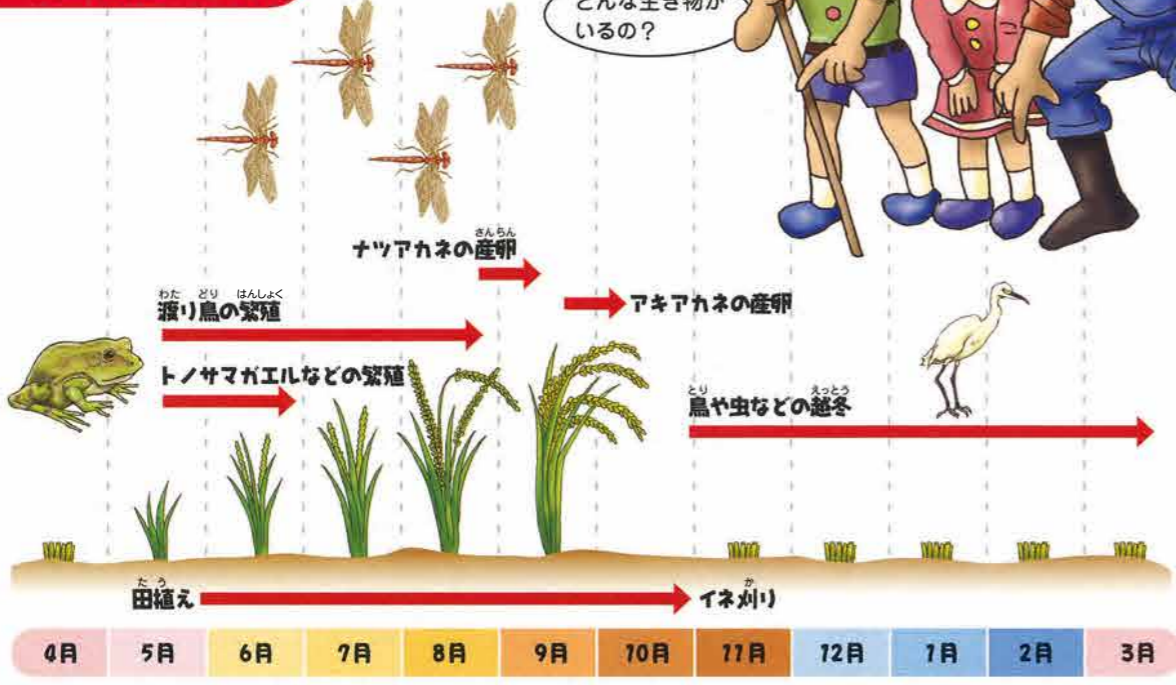




田んぼの周りをよく観察すると、小さな魚や昆虫、植物なんかが見えるやろ？緑がいっぱい空気おいしい農村には、人間だけじゃなくて、いろんな生き物たちも住んどるとい。

どんな生き物があるの？

季節ごとの田んぼの変化



田んぼに住む生き物は、みんな季節ごとの田んぼの変化に合わせて、卵を産んだり、繁殖したりしています。田んぼの稲や雑草を食べた虫は、トンボに食べられます。トンボはカエルに食べられて、カエルは鳥に食べられます。自然界には、食べたり、食べられたりというつながりがあって、最後には土に返って稲を育てる土の養分となります。このように田んぼは豊かな生態系を育てています。

ビオトープって？

田んぼやため池、河川や河原、海や干潟など、その地域にもともといる野生の生き物たちが暮らす場所を「ビオトープ」といいます。現在あるビオトープを守る〈保全〉とともに、人間の手でビオトープを作る試み〈再生〉が行われています。佐賀県内の小中学校などでもビオトープによる生態系の学習や動物などの観察を行い、自然環境について楽しく学んでいます。



佐賀平野でみつけた生き物たち

佐賀平野は、先人達が苦勞して干拓をし、たくさんのクレークを掘って、人間が暮らしやすい環境になるように作られたものです。豊かな水辺空間は、生き物にとっても住みやすい場所となり、トンボや魚、植物など、様々な生き物達に出会うことができます。



ギンヤンマ

昔から「ヤモ」と呼ばれ親しまれています。4~10月にかけて、クレークや池、田んぼなどで普通に見ることができます。



チョウトンボ

黒っぽく幅の広い羽根が緑や紫色に輝いて、チョウのように見えます。飛びかたもチョウのようにヒラヒラと飛びます。



オミバシ

平野部の池やクレークに生育する水草で、とげのある丸い葉は8月には最大2mにもなり、赤紫色の美しい花を咲かせます。全国的に絶滅の危機にある貴重な植物です。



テンジクアザミとサンショウモ

水路や水田に生育するシダ植物で、以前はあちこちで見られたもの今では数が少ない植物です。自分の家の近くに生えていないか探してみましよう。



ニッポンバラタナゴ

大きさは約5センチで、雄は産卵期が近づくと婚姻色といわれる宝石のような美しい色に変わるのが特徴です。佐賀平野のクレークや水路などで見られますが、これもまた絶滅の危機にあります。家の近くに生息していないか探してみましよう。



メダカ

大きさは約4センチで、歌でもおなじみの淡水魚。むかしは、水田地帯ならどこでも見ることができました。今では全国的に数が減少しています。

**茂いさん チェック!**  
 佐賀市では、豊かな水辺空間を生かして「トンボ王国」づくりが進められているとはい。毎年トンボ教室やトンボ写真コンクールが開かれていて、トンボの観察や学習が行われていると。

ボクはトンボが いいなあ〜。



まだまだ他の生き物も探してみたい!

**茂いさん チェック!**  
 日本には約200種類ほどの淡水魚がいるが、そのうち約100種類以上が佐賀で見られるとよ。佐賀が「日本三大淡水魚の宝庫」と言われるのも納得ばい。

みのりの神様に  
感謝しよう

# 農業とお祭りの つながり

稲作が中心の日本では、豊作を祈ったり、災害がこないように願ったり、稲作にむすびついた祭りや行事がたくさんあります。田の神はもちろん、山の神、水の神への感謝の気持ちを込めて、人々はさまざまな伝統を受け継いでいます。



**春**



**豊作**



**種まき**

農村では、**稲作を通して**さまざまな祭りなどを育んできました。これらの文化を保存し継承していくことは、**私たちの大切な役割**です。

**雨乞い** 夏



**収穫**



**冬**



稲刈りの時に、田の神さまとして3〜5日お粥だめしが行われる。お粥のカヒの生え具合で、一年の作物の豊凶を占う。

亥の子さま

**感謝**



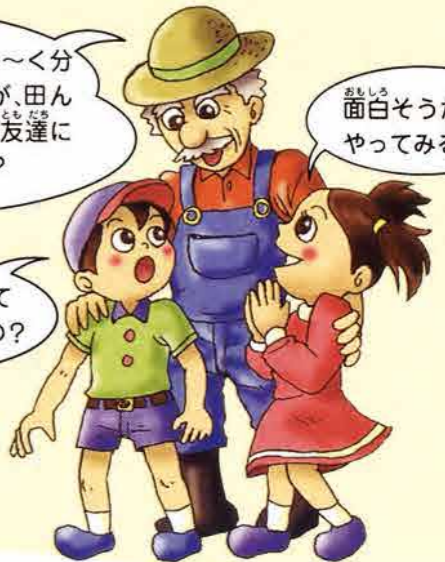
**秋**



田んぼニュースを  
つくってみよう!



ふたりとも農業のことが、よ〜く分かったら。せっかくやけんが、田んぼニュースをつくって他の友達にも教えてあげたらどがんね?



でも、どうやってつくったらいいの?

## まずはテーマ!

みんなの町には、どこに田んぼがあって、どこから水が流れてきている? 近くの畑ではどんなものがつくられている? まずは、みんなが調べてみたいことや興味があることを話し合ってみよう。

それができたら、

- ・私の町の田んぼマップ
  - ・もっと知りたい田んぼのこと
  - ・田んぼの生き物を探しに行こう
  - ・水の流れを調べてみよう
- など、いくつかのテーマを決めていこう。



## グループに分かれて 情報を集めよう!

テーマが決まったら、グループに分かれて情報を集めよう。図書館で本を読んで調べたり、パソコンでホームページをみて調べたり、昔のことを知っているおじいさんやおばあさん、田んぼで働く農家の人など、地域の人たちの話を聞いてみよう。話を聞くときは、ノートと鉛筆やカメラを持って、教えてもらったことや、その時の感想をメモしたり写真を撮ったりすること。前もって、聞きたいことをまとめておくと、スムーズに話がきけます。



## ふるさと新聞を みんなに見てもらおう

できあがった新聞は、おとうさんやおかあさん、いろんな情報を教えてくれた農家の人や、地域の人たち、他のクラスのお友達に配って見てもらおう。見てくれた人には、感想を聞いて、次回の新聞づくりに役立てよう。



## 情報をひとつに まとめよう!

情報があつまったら、さっそく新聞づくりを始めよう。どの情報をどの大きさに紹介するのが、イラストは誰が描くのが、どういったタイトルをつけるのが、みんなて話し合って新聞をつくってみよう。



## 新聞づくりのポイント

- ・写真や図を入れて、みんなにわかりやすく。
- ・自立つ色、大きな文字で書こう。



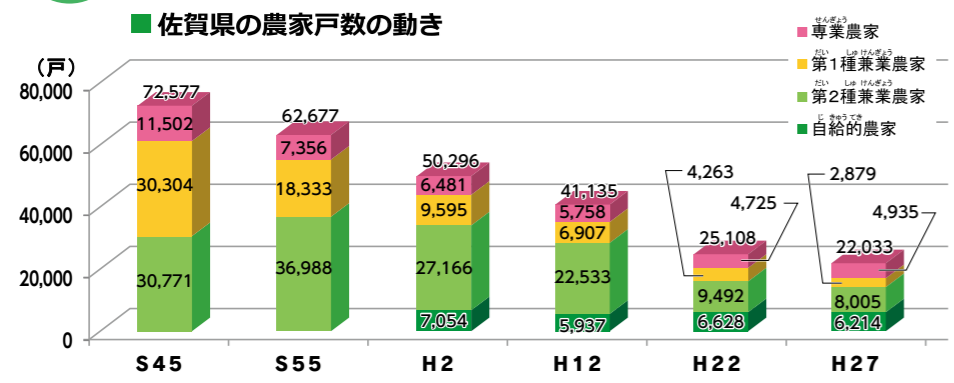
★の写真は佐賀県立博物館より提供



昔と今の農業は、どのように変わってきたのかな？  
佐賀県の約50年前（昭和45年）から  
今までのうつり変わりを調べてみよう！

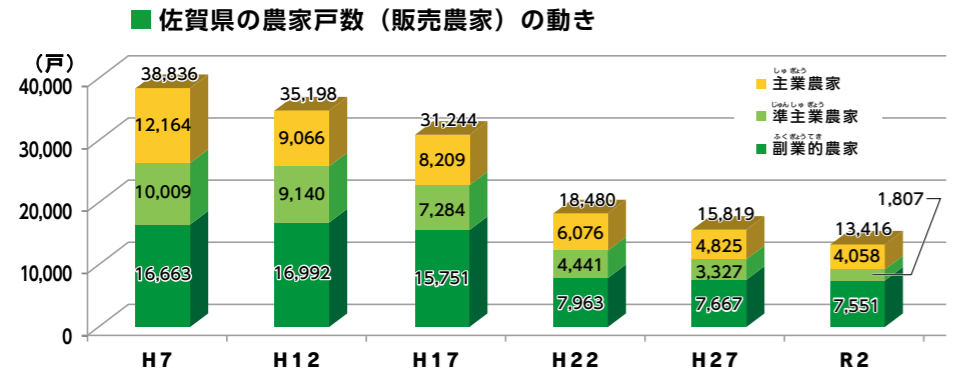
# 佐賀の農業はこんなに変わってきているよ！

佐賀県の農家戸数は、どのように変わってきたのか調べてみよう！



専業農家……農業所得のみの自営農家  
第1種兼業農家…農業所得を主とする兼業農家  
第2種兼業農家…農業所得を従とする兼業農家  
★**専業別農家**の調査はH27で終了しました。

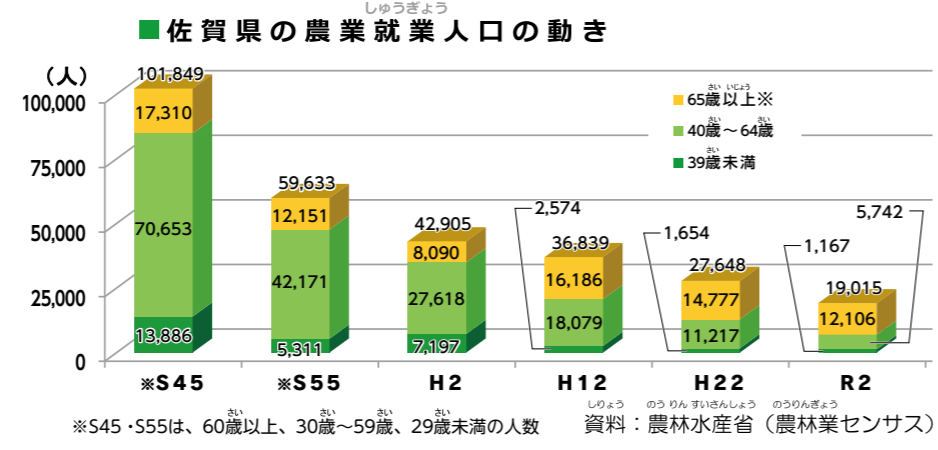
農家の数はどのくらい減ったのかな？  
どの農家の数が一番大きく変わったのかな？



主業農家…農業収入が他の収入よりも多く、農業で年間60日以上働いている65歳未満の農家  
準主業農家…農業収入が他の収入よりも少なく、農業で年間60日以上働いている65歳未満の農家  
副業的農家…農業で年間60日未満働いている65歳以上の農家  
★**主副業別農家数**は、平成7年から調査が始まりました。

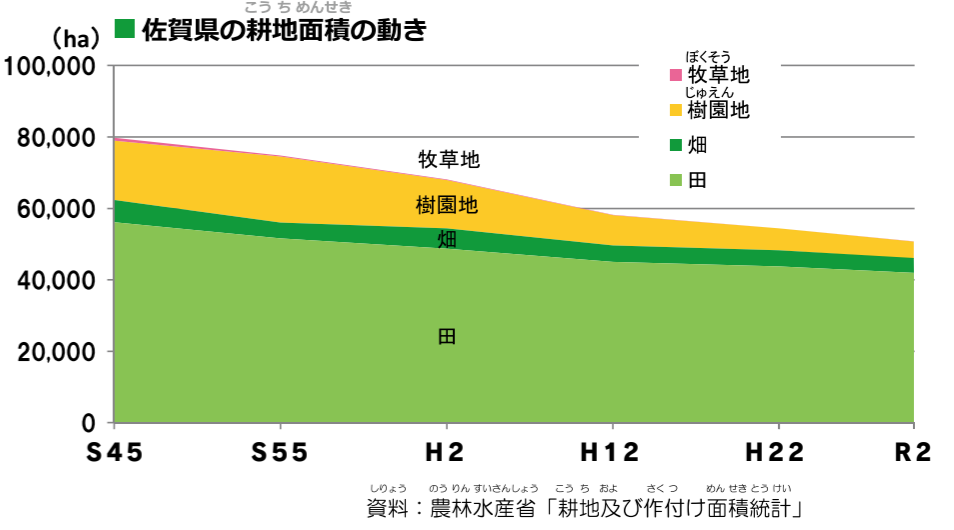
農業で働く人の数はどのように変わってきたのかな？

農業で働く人は、何歳ぐらいの人が多いのかな？  
働く人の年齢は、昔と今とどのように変わったのかな？  
★**農業就業人口**って？  
農業で働く人の人数です。

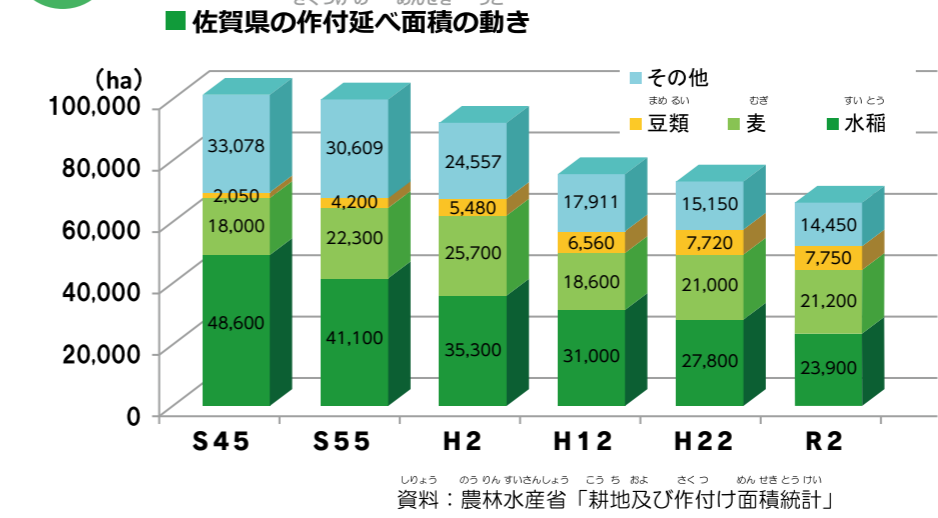


佐賀県の耕地面積は、どのように変わってきたのかな？

佐賀県の田んぼや畑の面積はどのように変わってきたのかな？  
どれが一番大きく変わったんだろう？  
★**耕地**って？  
農作物を作る土地を「耕地」といいます。



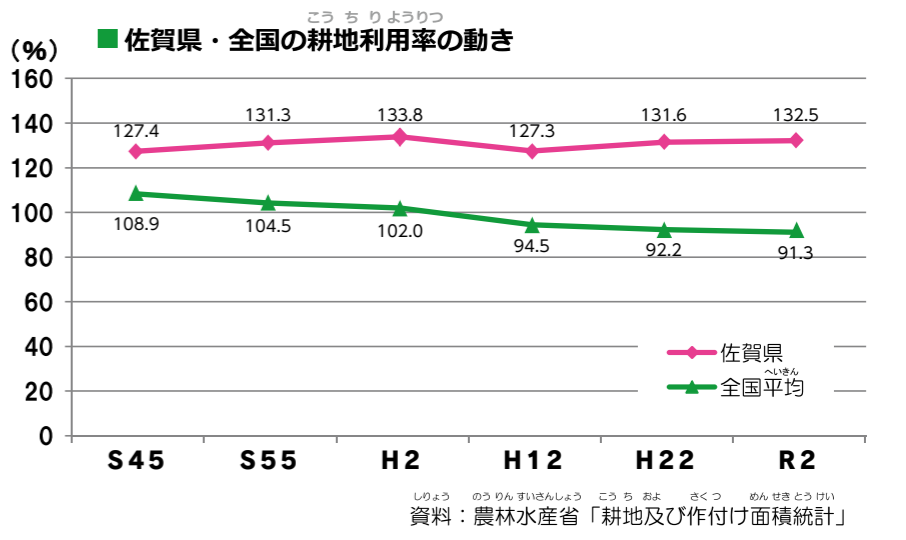
佐賀県の作付延べ面積は、どのように変わってきたんだろう？



約50年前から作付面積が大きく変わった作物はなんだろう？  
それはどうして増えたり減ったりしたのかな？  
★**作付面積**って？  
耕地に作物を栽培している面積のこと。  
1ha(ヘクタール)の耕地で1年に2回作物を栽培すると作付面積は2ha(ヘクタール)になります。

佐賀県の耕地利用率は、全国に比べてどうかな？

佐賀県の耕地利用率は、全国平均と比べてどうかな？  
★**耕地利用率**って？  
耕地面積を100とした場合の作付延べ面積の割合です。  
100ha(ヘクタール)の耕地に1年間で130ha(ヘクタール)の作物を栽培すると、耕地利用率130%(パーセント)になります。



# 全国自慢！ ～佐賀の農産物～

佐賀県には、全国に自慢できる農産物がたくさんあるよ！

### 二条大麦

令和3年産の作付面積は、

1位	佐賀県	9,970ヘクタール
2位	栃木県	8,650ヘクタール
3位	福岡県	5,790ヘクタール

二条大麦の作付面積は28年連続全国トップ

### 玉ねぎ


令和3年産の収穫量は、

1位	北海道	662,800トン
2位	佐賀県	100,800トン
3位	兵庫県	100,200トン

★トンって？  
重さを表す単位で、1トンは1,000キログラムです。

### さがびより（お米）

佐賀の新しい品種「さがびより」。お米のおいしさを評価する全国のコンテスト「米の食味ランキング」で、一番いい賞である「特A」を平成22年産から12年続けて受賞しました。



### れんこん

令和3年産の収穫量は、

1位	茨城県	25,500トン
2位	佐賀県	6,450トン
3位	徳島県	4,850トン



### いちご

令和3年産の反収は、

1位	栃木県	4,790キログラム
2位	佐賀県	4,610キログラム
3位	愛知県	4,320キログラム

★反収って？  
10アール（10m×100m）でとれる作物の重さです。



### ハウスみかん

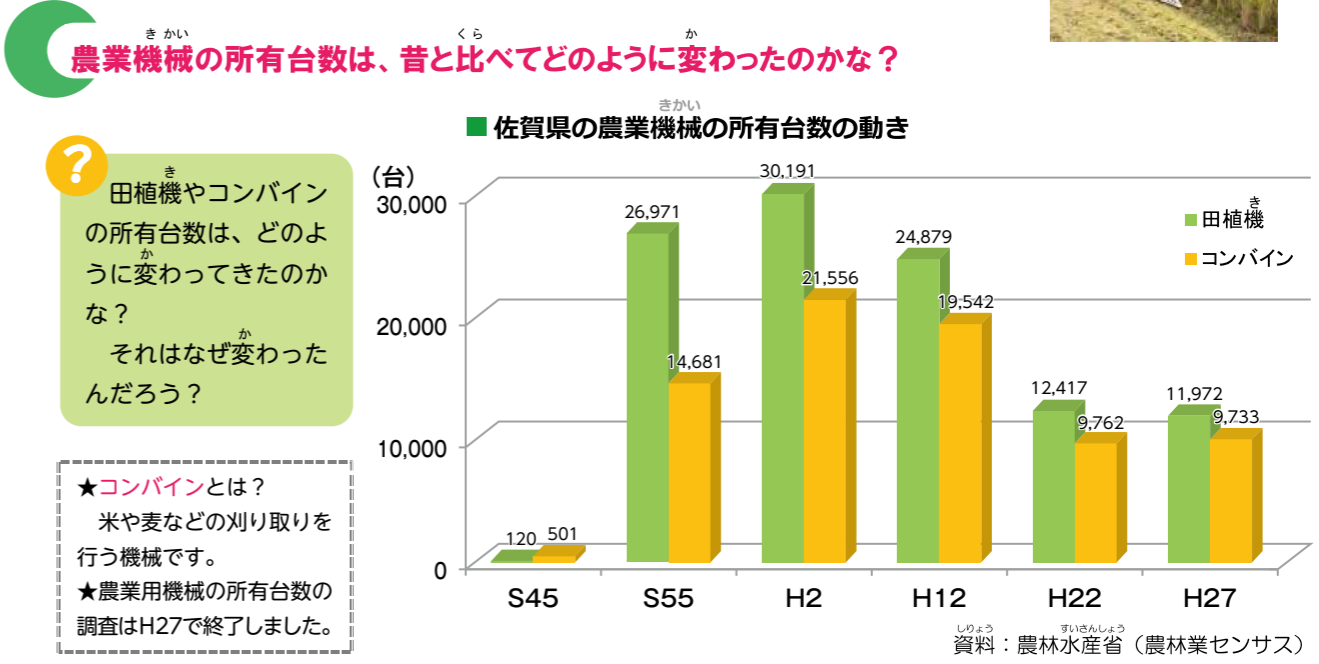
令和3年産の収穫量は、

1位	佐賀県	6,540トン
2位	愛知県	4,210トン
3位	大分県	1,450トン



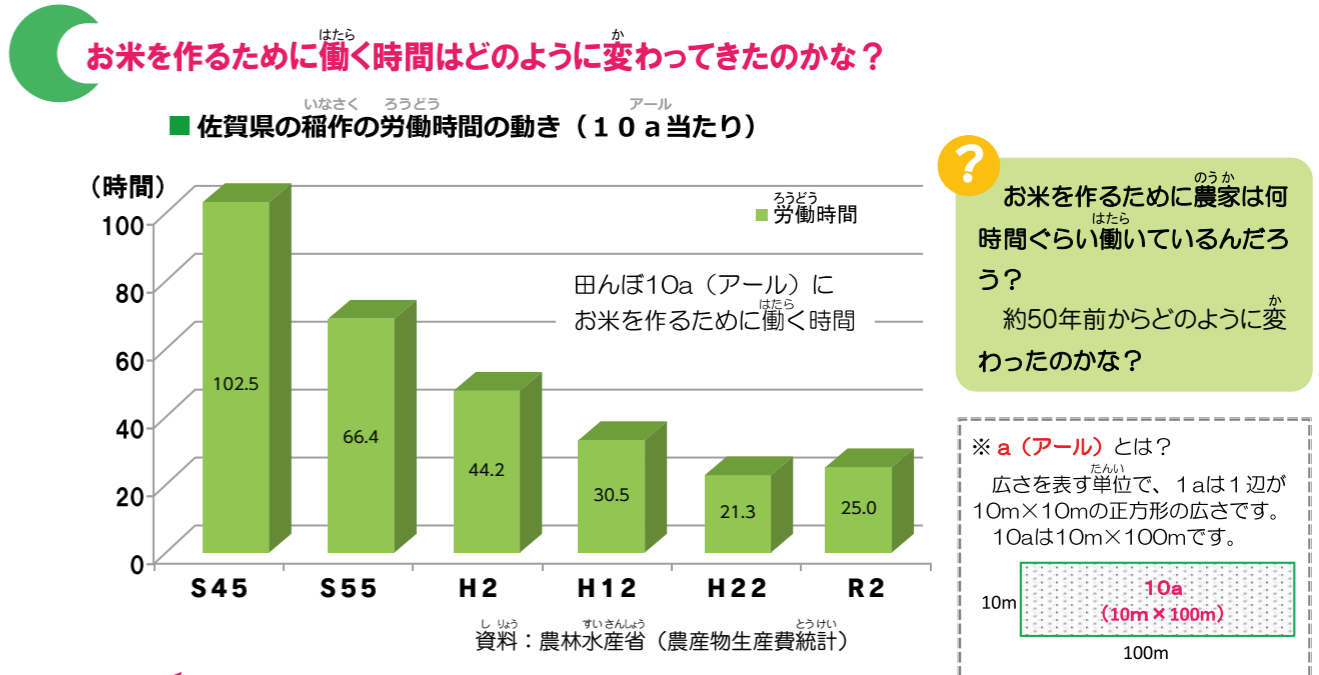
資料：農林水産省「作物統計」「野菜生産出荷統計」

# 佐賀県の農家のお仕事は どのように変わってきているの？



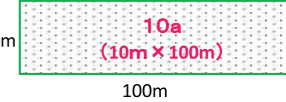
田植機やコンバインの所有台数は、どのように変わってきたのかな？  
それはなぜ変わったんだろう？

★コンバインとは？  
米や麦などの刈り取りを行う機械です。  
★農業用機械の所有台数の調査はH27で終了しました。



お米を作るために農家は時間ぐらい働いているんだろう？  
約50年前からどのように変わったのかな？

※a（アール）とは？  
広さを表す単位で、1aは1辺が10m×10mの正方形の広さです。10aは10m×100mです。



**チェック**  
農業機械の所有台数や稲作の労働時間はなぜ変わってきたんだろう？  
ほ場整備と関係があるのかな？  
昔と今の農地の違いを調べて（7～10ページ）、なぜ変わってきたのか考えてみよう！



佐賀の農業・農村の役割  
～ふるさとの水と土を知ろう!!～

# さがん水と大地の物語

発行 さがけん のうざんぎょせんか 佐賀県 農山漁村課  
〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59  
TEL (0952) 25-7124 FAX (0952) 25-7284  
E-mail: nousangyoson@pref.saga.lg.jp

編集 佐賀県 農山漁村課  
編集協力 小川徳晃  
平田陽介

資料・写真提供 田島正敏 栗山千速 岩村政浩 貞松光男  
財団法人 鍋島報効会  
独立行政法人 水資源機構筑後川下流総合管理所  
唐津市教育委員会  
小城市教育委員会  
伊万里市  
みやき町  
佐賀県立博物館

年 組

氏名